

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040190

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費2,900千円 平成26年度～ 事業費3,000千円 計画内容:実行委員会に対する助成
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 おもてなし力の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	オホーツクサイクリング事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	実行委員会	関係課	#N/A	
事業指標	オホーツクサイクリングの開催		#N/A	
事業目標	年1回	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	実行委員会に対する事業負担 前夜祭実行委員会に対する負担 受入れ・歓迎事業の開催	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担700千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,750千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担800千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1,190千円	
	事業費(千円)	12,660	2,900	2,440	2,440	2,440	2,440
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	12,660	2,900	2,440	2,440	2,440	2,440	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,508	2,714	2,447	2,347	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	7,508	2,714	2,447	2,347			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 839名 212km 658名 日帰りコース 181名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 850名 212km 621名 日帰りコース 229名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 753名 212km 494名 日帰りコースほか 259名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果	
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	
		年度達成率	94%	100%	96%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	21%	41%	59%	59%	59%
		備考欄					

事業名	オホーツクサイクリング事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係	中西巖太

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	サイクリスト	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加者数	
【抱える課題やニーズは】	新鮮味が薄れていることから、参加費の軽減を含め、老若男女を問わず参加しやすい体制の検討が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。	① 実施回数	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	開催当初レベルの参加者の確保、雄武町のPR		目標値	1回
			実績値	1回
		② 参加者数	達成度	100.0%
			目標年度	平成27年度
			目標値	1,000人
			実績値	753人
			達成度	75.3%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	実行委員会への負担金支出	オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出		
	前夜祭実行委員会への補助	オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、観光PRの効果も大きいことから、町としての一大イベントとして確立している。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも有効と判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、発注品単価の抑制等を実施しており、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	町を挙げての一大イベントとして定着しており、多くの集客がある機会が一町民の理解を得られているものと判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
日帰りコースの参加者は増加傾向にあり、212kmコースはリピーターが多く根強い支持を得ていることから、計画通り事業が進められている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
検証結果をもとに継続して取り組むために参加者数の増加をしていくことが必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止